川辺チーム総合３位、初日の南九州路は３位
～第 63 回鹿児島県下一周市郡対抗駅伝競走大会～

まちの話題

２月 13 日から 17 日までの５日間にわたって、53 区間、総距離 588.2 キロを走り継ぐ県下一周駅伝競走大会が開催されました。川辺チームは郷土を走った初日は３位。主力やベテランの安定した走りと高校生の元気な活躍が光り、総合成績３位でゴールしました。

一斉にスタートする 12 地区の選手（鹿児島市役所前）

おめでとう区間賞

石川	徹平	（１日目 第６区）
新澤	大誠	（ 〃 第８区）
古市	峻大	（ 〃 第９区）
友生	貴大	（２日目 第10区）
新澤	大誠	（３日目 第４区）
源川	竜也	（４日目 第７区）

川辺チーム　選手の皆さん

雪丸　恭平	田代　直也
永田　　亮	永谷　公明
山内　　進	新澤　卓大
中木原毅尚	新澤　大誠
奥薗健一郎	古市　峻大
田畑　庸祐	茅野　雅博
石川　徹平	大川畑幸来
中村　太悟	石山　大輝
雪丸　雄大	友生　貴大
山下　奨平	源川　竜也
田代　一晃	

５日間の成績

１日目	３位
２日目	３位（累計３位）
３日目	３位（ 〃 ３位）
４日目	４位（ 〃 ３位）
５日目	４位（総合３位）

南九州市内の区間を走った郷土選手
（１日目）

6区 石川 徹平 選手・9区 古市 峻大 選手・10 区 雪丸 雄大 選手・11 区 中木原 毅尚 選手
タスキリレー

南九州消防署庁舎落成式典開催
～新たな防災拠点施設として～

昨年２月から知覧分遣所近くに建設中であった南九州消防署庁舎がこの度完成し、消防記念日の３月７日、南九州消防署庁舎落成式典が盛大に開催されました。式典では指宿南九州消防組合管理者の豊留悦男指宿市長をはじめ、副管理者の塗木弘幸市長など関係者によるテープカットおよびくす玉開きが行われました。

その後、庁舎内で行われた落成式において、豊留消防組合管理者が「消防署が建設され、救助工作車を新たに配備することで、市民の救助に早急に対応ができる」とあいさつしました。

また、関係者が見守る中、４月１日から南九州消防署に新たに配置される救助隊による救出訓練や訓練施設を使った障害突破の救助訓練が実施されました。

▲祝賀会において、塗木市長は「最新の設備を備えた消防署が建設され、市民の安心・安全な生活の拠点となる」と話しました。

▲救助技術訓練では、ガードレールに衝突し車に閉じ込められた運転手の救出作業が、新たに配備された救助工作車を使用し行われました。

石垣のまちにあふれる活気
～古民家マーケット in 塩屋～

2月28日、頴娃町別府石垣商店街の古民家「塩屋」で1日だけのマーケットが開店しました。頴娃別府子どもと地域をつなぐ会が主催となり、地元有志の方やNPO法人頴娃おこそ会、茶寿会や青年団などが協力したイベントは、一日中多くの人で賑わいました。港町として栄えた石垣のことを知る人からは、「昔の活気が戻ったようだ」と喜びの声が聞かれました。

▲NPO法人頴娃おこそ会の石垣プロジェクトで再生した古民家「塩屋」。まちづくりの拠点として今後もさまざまな活用が期待されます。

市内の女性団体が一つになって
～第1回 南九州市女性大会～

2月21日、市各種女性団体連絡会（市内20団体）が主催となり、第1回市女性大会が知覧文化会館で開催されました。各団体の連携を深めることや連絡会の活性化などを目的としたこの大会では、女性団体の活動発表やハープとフルートによるミニコンサート、講演会などが行われ、約250人の参加者の良い学びの機会となりました。

▲老若男女どなたでも参加できる大会です。来年も開催しますので、ぜひ、ご参加ください。お楽しみに。

▼特別賞を受賞した山下尚志さんと丹精を込めて育てたカーネーション。市からは昨年度よりも多い7点が入賞を果たしました。

堂々の特別賞受賞
～鹿児島県フラワーコンテスト～

2月4日、かごしま県民交流センターで県フラワーコンテストが開催されました。県内20市町から11部門241点の出品があり、市からは3部門29点が出品されました。特別賞の県フラワー協会会長賞に山下尚志さんのカーネーションが選出されたほか、利田正明さん、福留誠さん、徳川マウロさん、東耕太さん、永谷保澄さんも入賞を果たしました。

▼今回の出場は、昨年11月に開催された県小学校管楽器演奏会において、51団体の中から九州大会に出場する6団体に選ばれたものです。

九州大会出場！笑顔で演奏
～知覧小学校金管バンド～

2月27日、福岡市の福岡サンパレスで開催された「2016全国小学校管楽器合奏フェスティバル（九州大会）」に知覧小学校金管バンド（児童36人、顧問3人）が初出場し、日頃の練習で培ったハーモニーを演奏してきました。部員の子どもたちは「大きなステージに少し緊張したけど、みんな笑顔で演奏することができて良かった」と話してくれました。

大工・左官の技術でボランティア
～川辺町土建職人組合～

2月14日、川辺町土建職人組合の組合員10人が、ボランティアで川辺地域に住む独居高齢者の家屋補修を行いました。当日は強風、雨天のあいにくの天気でしたが、朝早くから専門分野ごとの班に分かれ、希望者9人の家屋補修に取り組みました。補修後には「ありがたい」「便利になった」と感謝の声が聞かれました。

▲この活動は20年以上毎年続けられ、高齢者の方々に感謝されています。組合の皆さん、ありがとうございます。

頴娃老人福祉センターに福祉用品寄贈
～鹿児島県グラウンド・ゴルフ協会～

2月24日、県グラウンド・ゴルフ協会（有川 馨会長）より市社会福祉協議会頴娃支所へ福祉用品が寄贈されました。同協会の皆さんがホールインワンを達成した喜びを基金として積み立てた「ホールインワン基金」から贈られた自動血圧計や車いすなどは、多くの高齢者の方が利用する頴娃老人福祉センターに設置しています。

▲頴娃老人福祉センターで行われた贈呈式。協会の皆さん、ありがとうございます。

百歳おめでとうございます
～福吉ミネさん（頴娃町別府）～

福吉ミネさんが、2月20日に100歳の誕生日を迎えられました。福吉さんは高等科を卒業した後、和裁学校で学ばれ、平成2年まで和裁で生計を立てておられました。現在は養護老人ホームえい秀峰園で生活されており、施設では福吉さんのお祝いの会を開き、ご家族、入所者や職員の方々と長寿をお祝いしました。

▲本多副市長が施設を訪問し、花束とお祝いを贈呈しました。

南薩地域包括ケア・ボランティア活動表彰
～次下なでしこクラブ（頴娃町別府）～

次下なでしこクラブが、長年にわたり地域のボランティア活動に尽力され、笑顔あふれる健康長寿の地域づくりに大きく貢献された団体として、南薩地域振興局より表彰されました。独居や高齢者世帯などの安否確認、声かけや話し相手、買い物や外出支援など、日常生活支援活動に積極的に取り組まれています。

▲次下なでしこクラブは、会長の飯伏學さんほか6人でボランティア活動に取り組まれています。

地域に桜の花を咲かせましょう！
～桜の苗木155本を植栽～

（公財）日本さくらの会の宝くじ桜寄贈事業により、上別府地区公民館にソメイヨシノ、カンヒザクラなど80本、霜出校区公民館にソメイヨシノ75本の桜の苗木が寄贈され、それぞれの地域に植栽されました。

この事業は桜を植栽、育成することにより、豊かな自然環境、生活環境を保全していくことを目的に行われています。毎年希望団体を募集しており、それぞれの公民館が応募したものです。公民館では、子ども会などが地域全域に植栽していきました。

～上別府地区～

～霜出校区～

緑の少年団

緑の少年団を知っていますか？

緑の少年団は、次代を担う子どもたちが体験活動を通じて「自然を愛し、人を愛し、社会を愛する心豊かな人間に育っていくこと」を目的とした子どもたちの団体です。
南九州市では３団体が活動しています！

知覧小学校緑の少年団

知覧小学校緑の少年団では、学林地キャンプや地域緑化推進活動、森を守り育てる活動などさまざまな活動を行い、日頃の生活ではできないような貴重な体験をしています。現在、22人の団員と育成会で「自然の中で、学ぶ！遊ぶ！そしてつながる！」をテーマに活動しています。

昨年度は、「県緑の少年団活動発表大会」で、これまでの活動が認められ、最優秀賞を受賞することができました。全国大会ではみどりの奨励賞をいただきました。

今回は緑の少年団の一大イベントである学校林キャンプについて紹介します。知覧小学林地に到着すると、まず森の教室作り事業で設置されたデッキを掃除します。その後昼食・夕食・朝食で使用する箸と器を竹で作ります。昼食のそうめん流し台も手作りです。山の中でのそうめん流しは爽快でした。夕食はカレーライスを食べて、夜はナイトウォークに天体観測と電気もテレビもない山の中で自然を十分楽しみました。

知覧小学校緑の少年団　団長　新越 愛

霜出緑の少年団

僕たち霜出緑の少年団は月に一度、お父さんやお母さん、友だちと一緒に山や海、自然の中で思いっきり遊ぶ活動をしています。今年度は菜園作り、潮干狩り、カヌー体験、木工教室、海カメ放流、韓国岳登山、キャンプをしました。

その中でも僕が一番楽しかったのは、泥んこ大運動会です。最初は汚れるから嫌だったけど、泥の中で走ったり、綱引きをしたり、宝探しをしたり、だんだんと面白くなりました。大人も真っ黒になってみんなで大笑いしました。今年は学有林の猿山をお父さんたちが整備してくれました。僕はアスレチックコースと巨大ブランコができたらいいな～と思います。僕たちも一緒に植樹の手伝いをして、友だちと山の中で早く遊べるように頑張りたいです。

霜出緑の少年団　団長　中野 楓

青戸緑の少年団

青戸緑の少年団では、自然を愛し、自然を守る活動を行っています。使われなくなった水田での米作り体験や市有林の間伐体験、野外炊飯などです。これらの体験活動を１回で終わらせず、自分たちで作った米と間伐した木を薪にして野外炊飯をするなどそれぞれの体験が互いに結びつき自然の中でのつながりを理解しようと頑張っています。海水から塩を作り、米から燃料まで100％手作りのおにぎり作りをしたこともありました。

こうした活動が鹿児島緑の基金から評価され、昨年の夏には、「緑の少年団国際交流事業」の代表に選ばれ、団員３人がロシアのハバロフスク州へ行きました。

青戸緑の少年団は、これからもさまざまな自然体験活動を続け、将来、社会で役立つよう頑張っていきたいです。

青戸緑の少年団　団長　宝代 晴日

『緑の募金』は森林の整備や緑化の推進に活用され、さまざまな「森づくり・人づくり」活動の活性化につながります。

南九州市みどりの推進協議会では、募金活動を推進しています。この募金は学校や公民館など地域の緑化および森林の整備などに使われます。１世帯あたり200円の募金を目標にしています。ご協力をよろしくお願いします。